

平成29年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。
ご覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.56

H29. 7. 1 「交通安全祈願音楽パレード」

永山地域振興実行委員会が主催する「交通安全祈願音楽パレード」に吹奏楽局が参加しました。毎年、永山地区の小学校、中学校、高等学校が上川振興局をスタートに永山駅までを行進、地域の皆様からも親しまれている行事です。

本校吹奏楽局は、午前中に野球全校応援で演奏した後の参加だけに体調も心配されましたが、トリらしい圧巻の演奏、演舞で地域の方々に魅了する姿を目にし、ホッと胸をなでおろしました。



パレードのトリを飾る吹奏楽局

日々の練習の成果が、曲を奏でる以上に大きな影響力と貢献力を持つ活動になっているわけです。生徒の皆さんは苦労も多いと思いますが、活動に自信と誇りを持ち、今後も多くの人を幸せにしてくれる演奏を続けてください。

午前中の応援演奏は、選手を鼓舞するだけでなく、グラウンドと応援席を一体化する大きな橋渡しの役割を担っています。そのエネルギーが勝ちを導くわけですから、吹奏楽局や応援団の貢献度は半端ではありません。

また午後からのパレードは、交通安全の啓発のみならず、多くの人の心に潤いを与え、幸せな気持ちにさせてくれる効力を持っています。



All for one, and one for all. No.57

*エイリョウ・アラカルト 「国体個人戦全道優勝！」

過日、帯広市で行われた「国民体育大会弓道競技」全道大会で、3年4組の河野 基巧君が見事個人優勝の快挙を成し遂げました。高体連でも好成績で全道出場を果たした男子弓道部が再びその底力を発揮してくれました。

弓道は一射ごとに大きなプレッシャーと立ち向い、並外れた集中力が求められる競技です。また、礼儀と人間性が磨かれる日本を代表する伝統的「道」でもあります。その精神を最後まで貫き通しNo.1を手にした河野君の実力は感動ものです。本当におめでとう！

この経験を今後の高校生活に生かし、日常生活でも他の模範となってくれることを確信しています。



All for one, and one for all. No.58

H29. 7. 2 「校長室に地区代表旗がやってきました！」

夏の「野球」支部予選代表決定戦が7月2日に行われました。本校はDブロック、決勝戦は強豪旭川明成高校とです。

初回から行き詰まる投手戦、1点の遠い試合展開となりましたが、3回裏、本校が幸先良く1点を先取。その後、6回には相手ホームランにより同点。7回裏、再び本校が1点をリードするも、8回には相手校にも1点が入り、またまた同点。

両校の応援席も痺れる試合展開にヒートアップ、代表決定戦に相応しい好ゲームとなりました。

この時点で5分と5分、はたして勝利の女神はどちらに転ぶのか、応援する側としては気が気ではありません。そして8回裏、本校に勝ち越しの1点が入り、9回のピンチを凌いでゲームセット。両校ともに、クリーンヒット、ファインプレーの連続で、手に汗握る素晴らしい内容に球場全体からも大歓声。



球場に響き渡る校歌



感動の表彰式



校長室を飾る地区代表旗

選手たちの粘り強さ、たくましさ、そして応援する生徒たちの熱き思いが共鳴し合い手にした代表旗です。「永嶺」がまた新たな1ページを刻むとともに、前へ前へと確実に歩み続ける生徒の姿が実に頼もしく思える日となりました。

All for one, and one for all. No.59

H29. 7. 6 「今回の永嶺祭はまたまた凄い！」

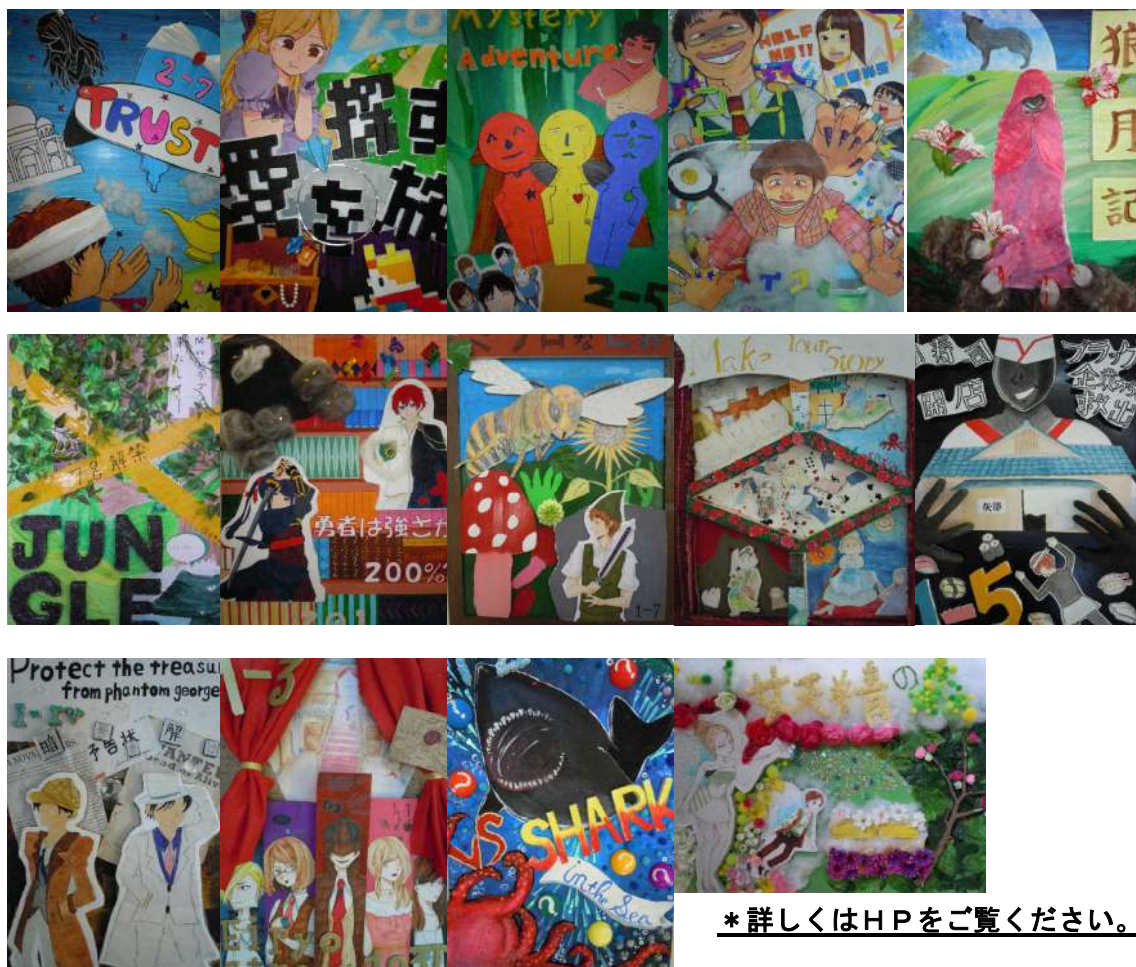
全学年（年次）が参加する学校祭がいよいよ迫ってきました。生徒たちも準備に大忙し。特に生徒会執行部や実行委員の皆さんは早くから企画運営にあたっていることもあり、疲労もピーク……。どうか体調を壊さないようにお願いしますね。

さて、「永嶺祭」の名物はなんと言っても「クラスパビリオン」！今年も各クラスが全員で叡智を絞り、クオリティーの高い出し物を作って、皆様をお待ちしています。

立体看板を見ただけでも、その素晴らしさが実感できます。乞うご期待！



三年生は、経験豊かでいずれも高レベル！ 展示内容にも大いに期待が持てます。



* 詳しくはHPをご覧ください。

テーマは「嶺（PEAK）」！ 学校名にもなっている「嶺」は「どこまでも抱き続ける高い志」を意味しており、生徒一人一人の「限界まで挑戦し続け、学校祭を意義あるものにする」という熱い思いが込められています。

一般公開となる9日（日）は、「文化（芸術）作品」の展示、クラス毎に創意工夫を凝らした「クラスパビリオン」、ステージでの「吹奏楽」「演劇」「軽音」「ダンス」等の発表、談笑していただくための「食堂喫茶」「模擬店」と見所満載となっています。



ポスター「PEAK」

All for one, and one for all. No.60

H29. 7. 8 ～ 9 「燃えた！永嶺祭」

8日（土）・9日（日）の両日、「永嶺祭」を開催しました。生徒たちが力を結集し、一生懸命に創り上げたものが、具体的な形となって一気に表出されました。

生徒自らが考え、生徒の手によって創り出され、発表された様々な事象は、いずれもエネルギーで生命感に溢れています。

この学校祭を契機に発揮した力を、今後の自信に替え、さらに大きく成長してくれることを願っています。また、共に汗を流した仲間との絆も生涯大切にしてください。

成功に導いてくれた生徒会執行部、学校祭実行委員の皆さん、本当にお疲れ様でした！



開会式では、吹奏楽局やバンド有志の演奏、学年（年次）の先生方によるカラオケなどの披露もあり、オープニングから大変な盛り上がりを見せました。



また、本校の特色でもある、1～3年までを縦割りにした「連合」チームによるダンスは、息もぴったり、完成度の高いパフォーマンスを見せてくれました。支える側と慕う側が一緒になって同じ舞台に立つことは、学校全体のまとまりにもつながっています。

文化作品では、書道部・美術部・写真部が合同での展示を行いました。授業での制作物や放課後の部活動作品など、見る者を愉しませてくれる空間が広がりました。



永嶺祭名物の「クラスパビリオン」では、互いの催しを鑑賞し讃え合う姿も・・・どのクラスも昨年同様に完成度が高く、案内人や様々な場面に登場するキャラクターの演技力に感動させられました。

独創的な発想に、どの年代の方々も愉しんでいただけたのではないのでしょうか。





1階ロビーには、夏の高校野球「北北海道大会への軌跡」として、代表校になった際の選手たちの喜びの表情を展示しました。また、全校生徒が心を一つに作り上げた「人文字」の写真も廊下に掲示しました。

いつまでも、この時の感動を忘れず、学習でも部活動でも永嶺生としての盛り上がりを継続していきたいと思っています。

それを象徴するかのように、「部活動対抗カラオケ」は大いに盛り上がりました。試合中の真剣な表情とはうって変わり、部員同士の仲睦まじい様子が伺われ、大変楽しいひとときとなりました。



*まだまだ沢山の部が、
各々の衣装で、見事な
振り付けと歌を披露し
てくれました。



夜は、「未成年の主張」に続き、「ファイヤーストーム」、「花火」が一日の疲れを癒やしてくれました。

一般公開での各ステージ発表、食堂、模擬店也大盛況でした。今年度は、一般公開を日曜日にしたことから例年以上の来校者となり、生徒も日頃の練習の成果を思う存分発揮できたことと思います。

また、「永嶺祭」は文化祭的要素も多分に含んでおり、作品の展示・発表も終日にわたりありました。



← ラジオ部門で全道出場を果たした放送局
オリジナルのシナリオを発表する演劇部 →



← 市内中学校吹奏楽部の
皆さんとコラボする吹奏楽局





中庭では各クラスの設けた「模擬店」がズラリ、中でもかき氷は終了時間まで長蛇の列が続きました。また、野外ステージではバンド演奏・ダンスが披露され、校内外を問わず多くの来校者で賑わいました。

保護者の皆様も、PTA役員と吹奏楽父母の会が「模擬店」で参戦！生徒に負けない盛況ぶりを見せました。暑い中、本当にお疲れ様でした。

今年の「永嶺祭」も、地域の方々や保護者の皆様に多大なご支援とご協力をいただいての開催となりました。

この場をお借りし、心より厚く感謝申し上げます。



All for one, and one for all. No.61

***エイリョウ・アラカルト 「北北海道大会が始まります」**

野球の北北海道大会が、今月15日からスタルヒン球場で開催されます。本校は二日目16日（日）に1回戦を迎え、旭川龍谷高校さんと対戦することになりました。

地元同士ということもありやや複雑な気分ですが、両校の持ち味を存分に生かした素晴らしいゲーム展開を期待したいです。



壮行会では、在校生の見守る中、主将の決意に全体の士気も大いに昂揚しました。「野球」というスポーツは、選手と応援する側が一体になれる不思議な魅力を秘めています。もちろん他のスポーツにも同様の要素はありますが、全員が呼吸を合わせて一斉に応援できることや、相手校との交互の応援合戦、ちょっとした間のようなものが、やはり独特なのかと思います。

選手には、どんなピンチになろうとも、自分を信じ最後まで粘り強く戦って欲しいと思います。皆さんの応援もよろしくお願いします！

H29. 7.21 「出前授業」

キャリア教育の一環として実施している「大学出前授業」、今回は2年次生を対象に、13の講座を設けて実施しました。看護、医療、教育、経済、法学、理工、薬学、語学、心理、幼児教育、家政等々、生徒の進路は多岐に渡ります。その学習ニーズに応えるのが本校のような単位制の特色でもあります。



学部や進路の道筋を早期からしっかりと身につけることは、進路目標実現の上で極めて重要な要素となります。

道内を中心とした各大学の具体的な講義体験を通して、



視野を広げ、進路目標を明確にし、意欲の啓発につなげることを目的としています。



今後、全ての年次で、様々な「出前授業」形態を取り入れ、社会の現状を知らせ、その中で自覚と責任を持った人材の育成に力を注いでいきます。

今後も全ての年次で、様々な「出前授業」形態を取り入れ、社会の現状を知らせ、その中で自覚と責任を持った人材の育成に力を注いでいきます。

H29. 7.22 「学校説明会&授業体験」

本校は「普通科単位制高校」として2年目を迎えます。その間、単位制の主旨を生かす教育課程と教育内容の策定に努めてきました。まだ過渡期ではありますが、その特色ある取組の一端をお伝えしたく、中学校の先生方を対象にした「学校説明会」を実施しました。



います。

多岐にわたる進路目標や学習ニーズに応えるための教育課程では、あらゆる進路に対応できる科目選択、習熟度・少人数指導といった授業形態の工夫、大学見学・模擬講義・出前授業といったキャリア教育の推進、ネットを活用した国際交流など、これからの時代に必要な感性を早期から身につけるための取組を推進して

中学3年生の皆さんを対象にした「授業体験」には450名近い参加者がありました。わかる授業を目指す本校の雰囲気だけでも体感していただけであれば嬉しく思います。

秋には、受検生、保護者、教諭の皆様を対象とした「学校説明会」を予定しています。今後も、多くの皆さんに本校の特色を伝えていけるよう努めていきます。



H29. 7.23 「サマーコンサートを開催」

吹奏楽局が「サマーコンサート2017」を旭川市民文化会館で開催しました。今回のコンサートでは、旭川中学校吹奏楽部と東神楽中学校吹奏楽部の皆さんが友情出演をして

くれました。両校の中学生とは思えないハイレベルな演奏に会場也大いに盛り上がりました。

音楽には、疲れた心を癒やし感動させる不思議な力があります。日頃から練習に励み、最高の演奏とパフォーマンスを見せてくれた旭川中学と東神楽中学の皆さん、そして本校生徒の皆さんには心より敬意を表します。

